

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R6-13号)

令和6年10月3日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和6年10月1～3日に伊勢湾・三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

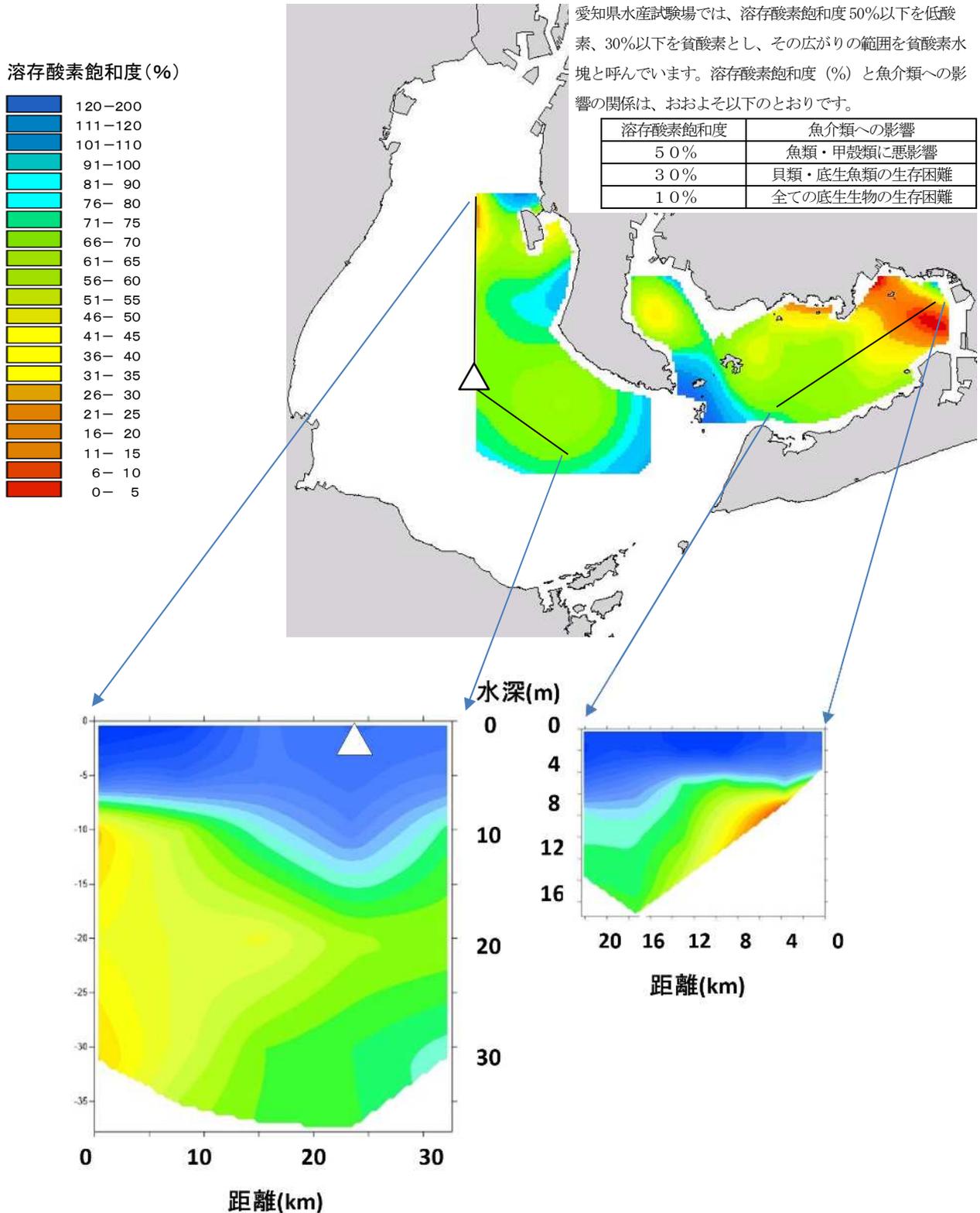


図1 伊勢湾（10月1日）、三河湾（10月2、3日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「へいわ」調査）

伊勢湾

10月1日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾では貧酸素水塊はほとんど確認されませんでした。9月11日調査(図2)と比べると、溶存酸素飽和度30%以下の範囲は縮小していました。今後は、水温は低下しているもののまだ例年より高いことから、貧酸素化が緩やかに進むと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)		塩分	
表層	26.1	~ 28.1	24.7	~ 30.4
底層	20.7	~ 26.6	28.7	~ 33.9

三河湾

10月2、3日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥部で貧酸素水塊が確認されました。9月26日調査(図2)と比べると溶存酸素飽和度30%以下の範囲は縮小していました。今後は、表底層間の水温・塩分格差が小さくなっており、海水の上下混合が進んで貧酸素は解消の方向に進む一方で、比較的弱い風でも貧酸素水塊が湧昇することから、注意が必要です。

表3 調査時の水温・塩分

	水温(°C)		塩分	
表層	25.9	~ 28.0	26.6	~ 30.2
底層	23.2	~ 26.7	29.9	~ 33.2

参考

前回調査時の三河湾底層の溶存酸素状況

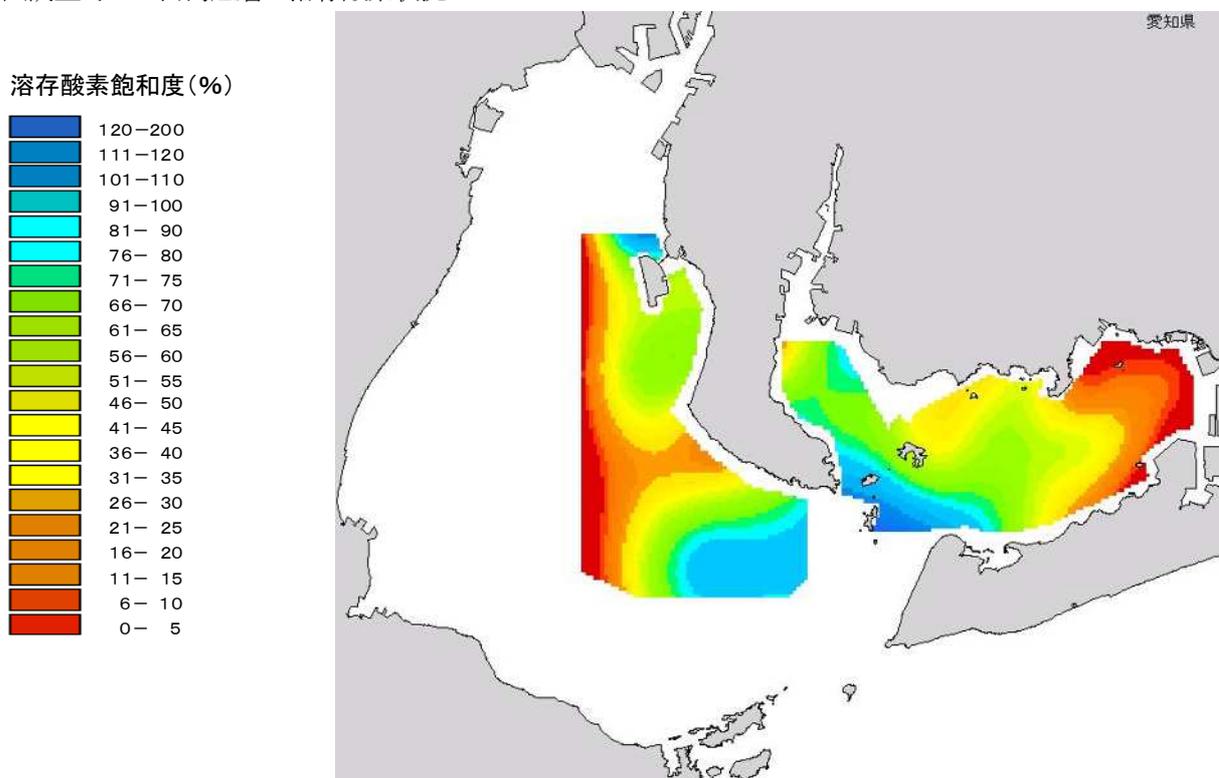


図2 令和6年9月11日(伊勢湾)、9月26日(三河湾)